

小中学校の校内放送を活用した非行防止教室

1 小中学校の校内放送を活用した非行防止教室とは？

北海道警察では、平成29年6月から従来の講義による非行防止教室に加え、小中学校の校内放送を活用した非行防止教室を実施しています。

本取組は、学校の放送室で児童生徒(放送委員など)と警察官が、一定のテーマに関してインタビューや質問、事例を交えて意見を交換する形式で行い、その様子を校内放送で全教室に配信して児童生徒に啓発を行う、10分程度の非行防止教室です。

2 どのような内容(教材)があるの？

次の教材について、放送原稿(シナリオ)とフリップを用意しています。

■インターネット等の危険やトラブルについて

「ワンクリック詐欺」「スマートフォンの危険性」「インターネット依存」「不適切な画像の投稿」「インターネットいじめ」「セクストーション」「無料オンラインゲームの落とし穴」「個人情報の投稿」

■児童ポルノ、児童買春等の児童の性的搾取被害の未然防止について

「ありのおしらせ」「自画撮り被害」「性犯罪被害」「児童ポルノ被害」

■児童生徒に対する声掛け、前兆事案等不審者からの犯罪被害防止について

「いかのおすし」「不審者の声掛けの3つのパターン」「一人の時間が狙われる」

■非行の未然防止について

「万引きの防止」「いじめの防止」



3 どんな特徴があるの？

■**集中します!** ⇒短時間(10分程度)の指導のため、児童生徒は、最後まで集中して聞くことができます。

■**身近です!** ⇒児童生徒が司会進行を行うことから、聞き手の児童生徒は、より身近に聞くことができます。

■**より興味・関心を高めます!** ⇒制服警察官が指導することで内容への興味・関心を高めます。

■**多くの児童生徒に指導できます!** ⇒校内放送の活用により全校児童生徒へ指導ができます。

■**複数回実施できます!** ⇒短時間で実施できるため、年間に複数回でき、指導効果が高まります。

様々な方法で取り組んでいます!

小規模校での取組

小規模校では、あえて校内放送は活用せず、体育館などに全校児童生徒を集め、警察官と児童生徒との掛け合いにより実施しています。



音声により実施

テレビ放送の設備がなく、音声放送で実施する学校では、伝わりやすいようにしっかりと発音したり、抑揚に注意したりして話しています。



保護者にも啓発

校内放送を録画して、参観日や保護者会などで放映し、多くの保護者に啓発を図る取組が行われています。



ロボットも登場

学校研究のため学校に貸与されている「ペッパー君」が校内放送の際に「いかのおすし」の説明を担当しました。



【申込み・お問合せは、学校を管轄する警察署の少年担当係にお願いします。】